

第 6 次白岡市総合振興計画
後期基本計画策定に係る
人口推計について

令和 8 年 3 月

目次

I. 社人研準拠推計	1
1. 社人研準拠推計とは.....	1
2. 社人研準拠推計の推計条件.....	1
3. 社人研準拠推計の結果.....	1
II. 独自推計	2
1. 独自推計の視点	2
2. 独自推計によるシミュレーション.....	3
(1) ーA 出生低位×移動低位推計.....	3
(1) ーB 出生低位×移動中位推計.....	4
(1) ーC 出生低位×移動高位推計.....	5
(2) ーA 出生中位×移動低位推計.....	6
(2) ーB 出生中位×移動中位推計※現状のまま推移した場合の推計.....	7
(2) ーC 出生中位×移動高位推計.....	8
(3) ーA 出生高位×移動低位推計.....	9
(3) ーB 出生高位×移動中位推計.....	10
(3) ーC 出生高位×移動高位推計.....	11
3. 独自推計によるシミュレーション結果.....	12
4. 後期基本計画における人口の見通し.....	13

- ◆ 本資料は、第6次白岡市総合振興計画後期基本計画の策定に当たり、基礎資料として活用することを目的として作成しています。
- ◆ なお、本資料における人口推計には、大規模な住宅開発など（民間による大規模集合住宅団地の開発等を想定）による「開発人口」を含んでいません。

※本報告書では、令和7年（2025年）を実績値とし、令和12年（2030年）以降、5年ごとに令和57年（2075年）までの推計値を算出しており、これらをもとに、毎年度の推計値は、5年分の増減を按分することで算出しています。本報告書では、白岡市後期基本計画の年次に合わせ、令和8年（2026年）以降、5年ごとの推計値を示します。

I. 社人研準拠推計

1. 社人研準拠推計とは

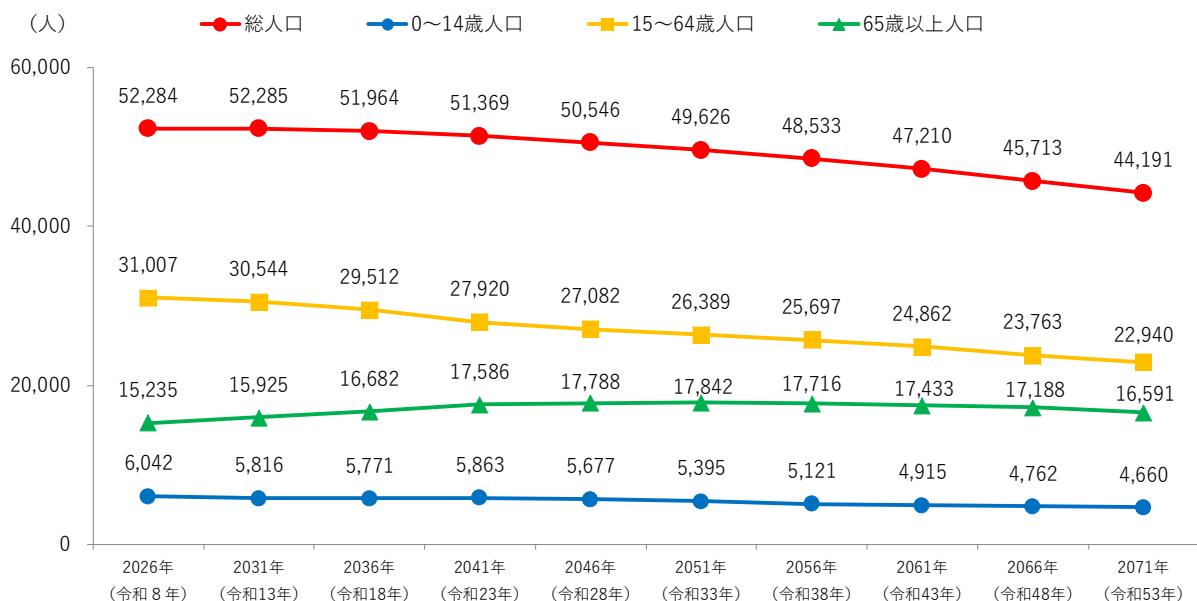
- ◆ 国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」）は、『日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）』において、わが国の各地域（市区町村）における将来人口の推計（以下「社人研推計」）を令和32年（2050年）まで実施しています。
- ◆ ここでいう社人研準拠推計とは、社人研推計の仮定値（生残率、純移動率など）を採用し、推計期間を令和57年（2075年）まで延長したものをいいます。

2. 社人研準拠推計の推計条件

- ◆ 基準人口：令和7年（2025年）住民基本台帳人口 **52,271人（10月1日）**
- ◆ 仮定値
 - ①生残率：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値
 - ②純移動率：同上
 - ③子ども女性比：同上、なお、合計特殊出生率に換算すると1.45～1.56
 - ④0～4歳性比：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値

3. 社人研準拠推計の結果

- ◆ 白岡市の総人口は、白岡市後期基本計画の計画期間満了年の**令和13年（2031年）**には**52,285人**となります。その後、総人口は緩やかに減少し、**令和38年（2056年）**には**48,533人**、**令和53年（2071年）**には**44,191人**となります。



Ⅱ. 独自推計

1. 独自推計の視点

- ◆ 独自推計においては、白岡市における近年の動向を反映するため、合計特殊出生率及び純移動率に近年の実績値から算出した仮定値を用います。
- ◆ 合計特殊出生率及び純移動率の仮定値を変化させ、将来における人口をシミュレーションします。

	A移動低位	B移動中位	C移動高位
	最近5年間(2020 - 2025)は転入超過であった年齢層が、令和27年(2045年)には転出入均衡となる	最近5年間(2020 - 2025)の転入超過状況が今後も継続する	最近5年間(2020 - 2025)は転入超過であった年齢層が、令和27年(2045年)には純移動率+50%増となる
(1) 出生低位 合計特殊出生率が更に低下し、令和27年(2045年)には1.00となる	(1) - A 出生低位 × 移動低位 推計	(1) - B 出生低位 × 移動中位 推計	(1) - C 出生低位 × 移動高位 推計
(2) 出生中位 合計特殊出生率が過去5年(2020-24)の平均値1.26から上昇しない	(2) - A 出生中位 × 移動低位 推計	(2) - B 出生中位 × 移動中位 推計 【現状のまま推移】	(2) - C 出生中位 × 移動高位 推計
(3) 出生高位 合計特殊出生率が過去の最高値1.52を超え、令和27年(2045年)には社人研仮定値程度(1.60)まで上昇する	(3) - A 出生高位 × 移動低位 推計	(3) - B 出生高位 × 移動中位 推計	(3) - C 出生高位 × 移動高位 推計

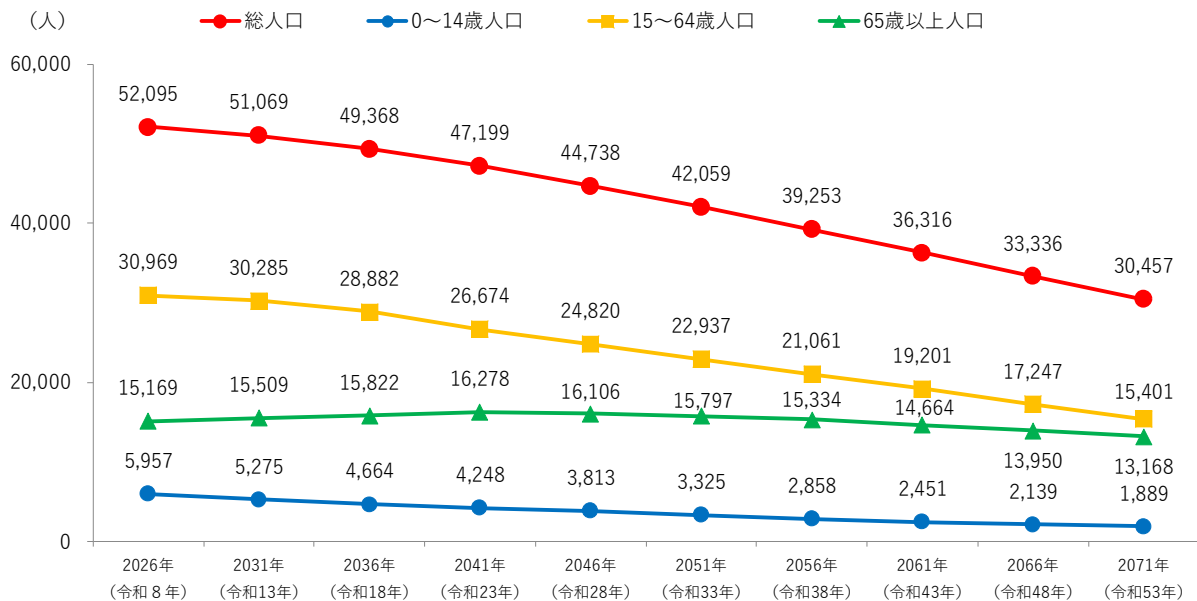
2. 独自推計によるシミュレーション

(1) —A 出生低位×移動低位推計

- ◆ 基準人口：令和7年（2025年）住民基本台帳人口 52,271人（10月1日）
- ◆ 仮定値
 - ①生残率：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値
 - ②純移動率：転入超過の年齢層が、令和27年（2045年）には転出入均衡
 - ③合計特殊出生率：令和27年（2045年）には1.00まで低下し、以降継続
 - ④0～4歳性比：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値

【推計結果】※社人研準拠推計を大幅に下回って推移

- ◆ 白岡市の総人口は、後期基本計画の計画期間満了年の令和13年（2031年）には51,069人となります。その後、総人口は加速度的に減少し、令和38年（2056年）には39,253人、令和53年（2071年）には30,457人となります。

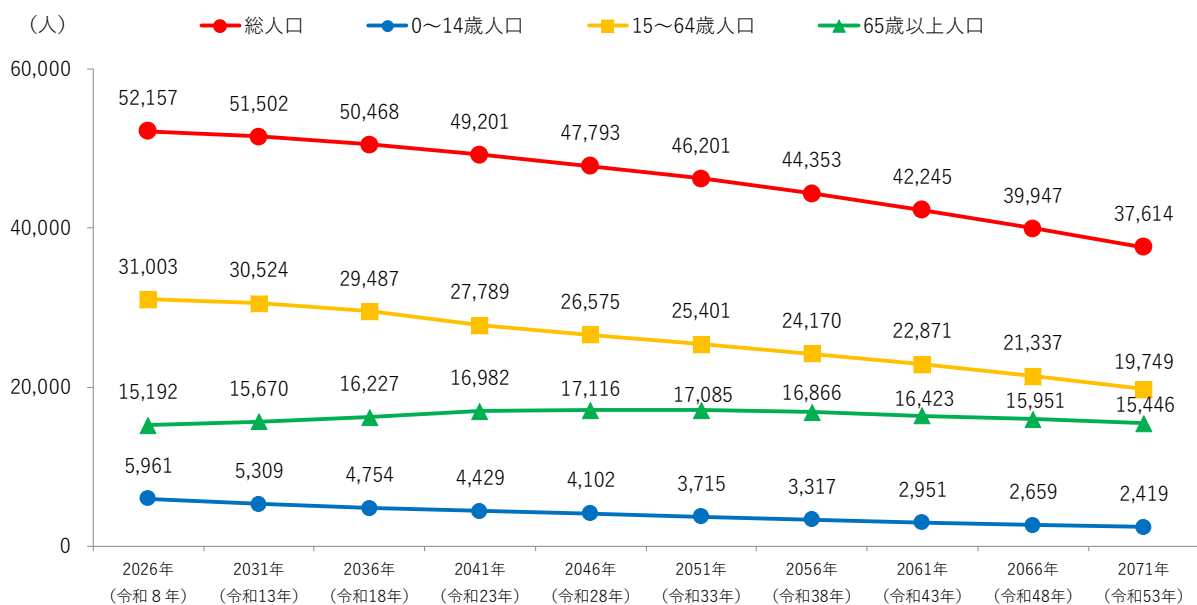


(1) 一B 出生低位×移動中位推計

- ◆ 基準人口：令和7年（2025年）住民基本台帳人口 52,271人（10月1日）
- ◆ 仮定値
 - ①生残率：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値
 - ②純移動率：住民基本台帳（2020-2025）から算出した値
 - ③合計特殊出生率：令和27年（2045年）には1.00まで低下し、以降継続
 - ④0～4歳性比：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値

【推計結果】※社人研準拠推計を下回って推移

- ◆ 白岡市の総人口は、後期基本計画の計画期間満了年の令和13年（2031年）には51,502人となります。その後、総人口は減少し、令和38年（2056年）には44,353人、令和53年（2071年）には37,614人となります。

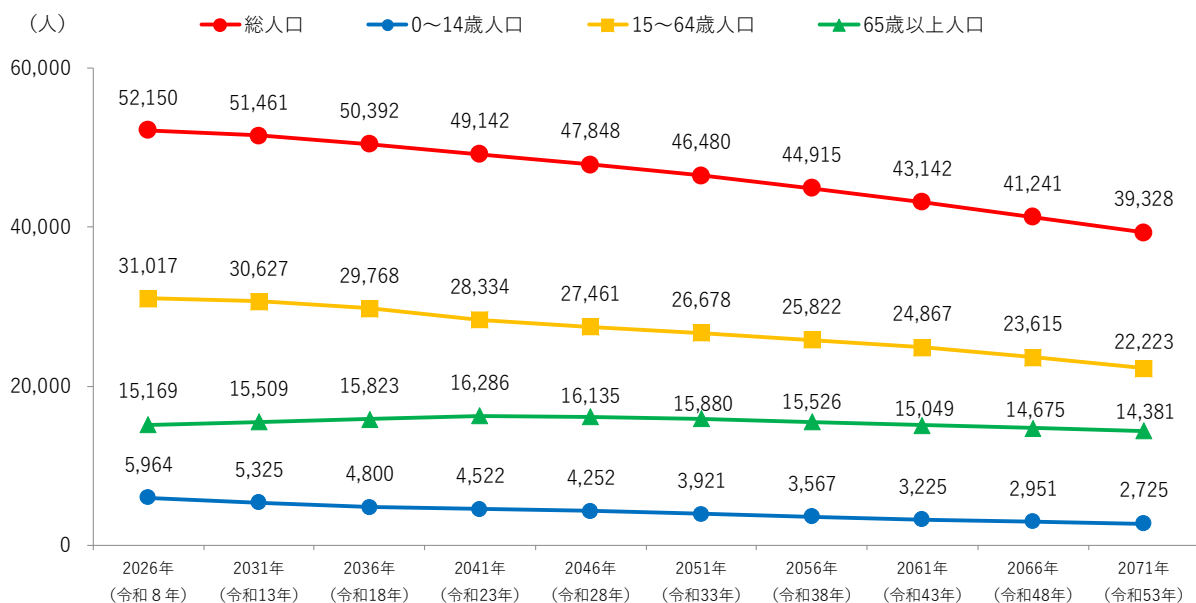


(1) ーC 出生低位×移動高位推計

- ◆ 基準人口：令和7年（2025年）住民基本台帳人口 52,271人（10月1日）
- ◆ 仮定値
 - ①生残率：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値
 - ②純移動率：転入超過の年齢層につき、令和27年（2045年）には純移動率+50%増となる
 - ③合計特殊出生率：令和27年（2045年）には1.00まで低下し、以降継続
 - ④0～4歳性比：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値

【推計結果】※社人研準拠推計を下回って推移

- ◆ 白岡市の総人口は、白岡市後期基本計画の計画期間満了年の令和13年（2031年）には51,461人となります。その後、総人口は減少し、令和38年（2056年）には44,915人、令和53年（2071年）には39,328人となります。

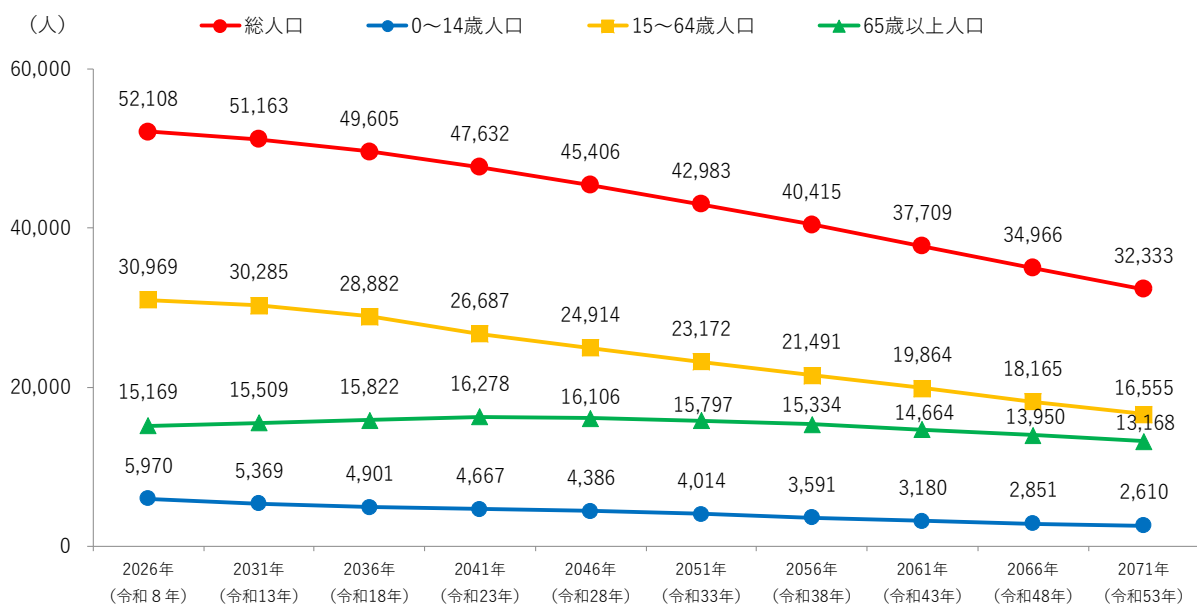


(2) 一A 出生中位×移動低位推計

- ◆ 基準人口：令和7年（2025年）住民基本台帳人口 52,271人（10月1日）
- ◆ 仮定値
 - ①生残率：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値
 - ②純移動率：転入超過の年齢層が、令和27年（2045年）には転出入均衡
 - ③合計特殊出生率：過去5年（2020-24）の平均値 1.26
 - ④0～4歳性比：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値

【推計結果】※社人研準拠推計を大幅に下回って推移

- ◆ 白岡市の総人口は、後期基本計画の計画期間満了年の令和13年（2031年）には51,163人となります。その後、総人口は加速度的に減少し、令和38年（2056年）には40,415人、令和53年（2071年）には32,333人となります。

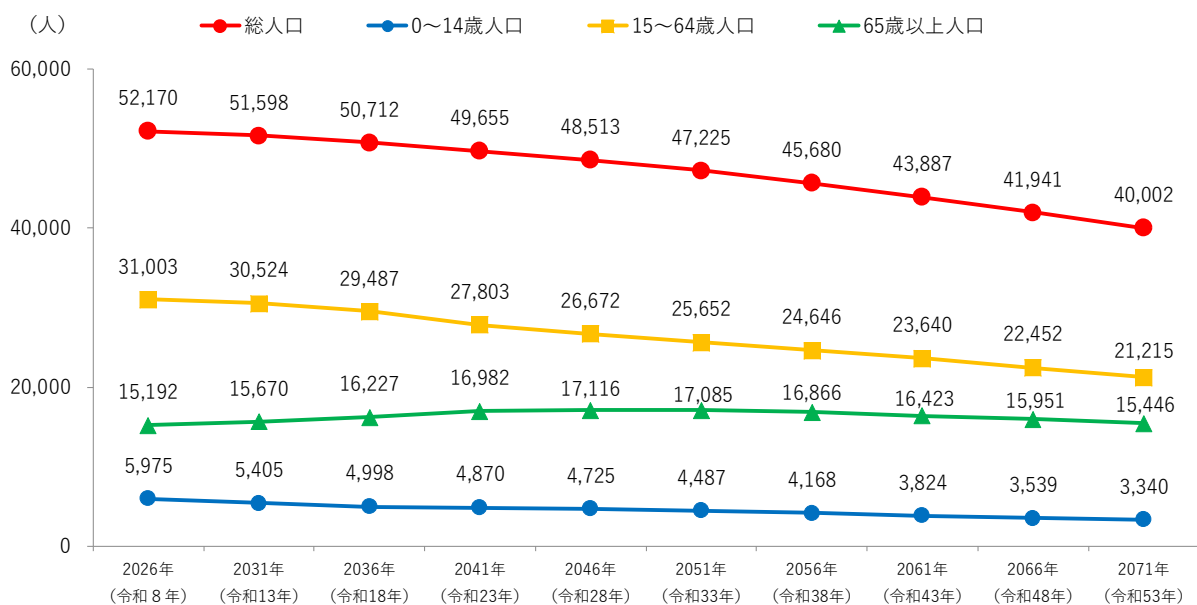


(2) 一B 出生中位×移動中位推計※現状のまま推移した場合の推計

- ◆ 基準人口：令和7年（2025年）住民基本台帳人口 52,271人（10月1日）
- ◆ 仮定値
 - ①生残率：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値
 - ②純移動率：住民基本台帳（2020-2025）から算出した値
 - ③合計特殊出生率：過去5年（2020-24）の平均値 1.26
 - ④0～4歳性比：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値

【推計結果】※社人研準拠推計を下回って推移

- ◆ 白岡市の総人口は、後期基本計画の計画期間満了年の令和13年（2031年）には51,598人となります。その後、総人口は減少し、令和38年（2056年）には45,680人、令和53年（2071年）には40,002人となります。

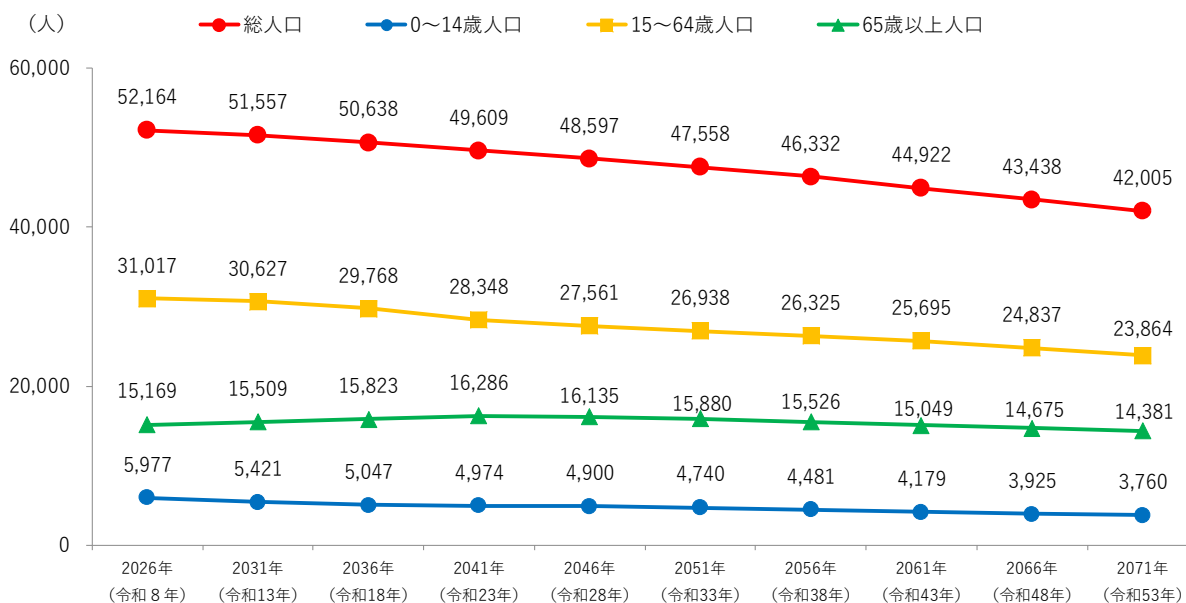


(2) ーC 出生中位×移動高位推計

- ◆ 基準人口：令和7年（2025年）住民基本台帳人口 52,271人（10月1日）
- ◆ 仮定値
 - ①生残率：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値
 - ②純移動率：転入超過の年齢層につき、令和27年（2045年）には純移動率+50%となる
 - ③合計特殊出生率：過去5年（2020-24）の平均値1.26
 - ④0～4歳性比：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値

【推計結果】※社人研準拠推計をやや下回って推移

- ◆ 白岡市の総人口は、後期基本計画の計画期間満了年の令和13年（2031年）には51,557人となります。その後、総人口は緩やかに減少し、令和38年（2056年）には46,332人、令和53年（2071年）には42,005人となります。

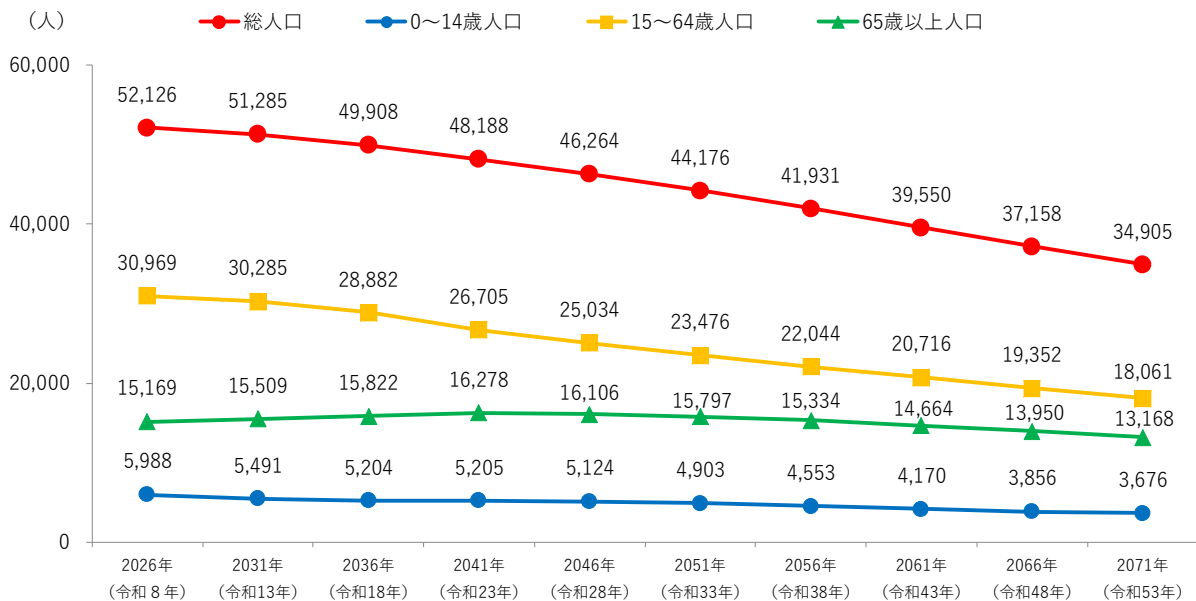


(3) ーA 出生高位×移動低位推計

- ◆ 基準人口：令和7年（2025年）住民基本台帳人口 52,271人（10月1日）
- ◆ 仮定値
 - ①生残率：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値
 - ②純移動率：転入超過の年齢層が、令和27年（2045年）には転出入均衡
 - ③合計特殊出生率：令和27年（2045年）には、1.60まで上昇し、以降継続
 - ④0～4歳性比：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値

【推計結果】※社人研準拠推計を大幅に下回って推移

- ◆ 白岡市の総人口は、後期基本計画の計画期間満了年の令和13年（2031年）には51,285人となります。その後、総人口は加速度的に減少し、令和38年（2056年）には41,931人、令和53年（2071年）には34,905人となります。

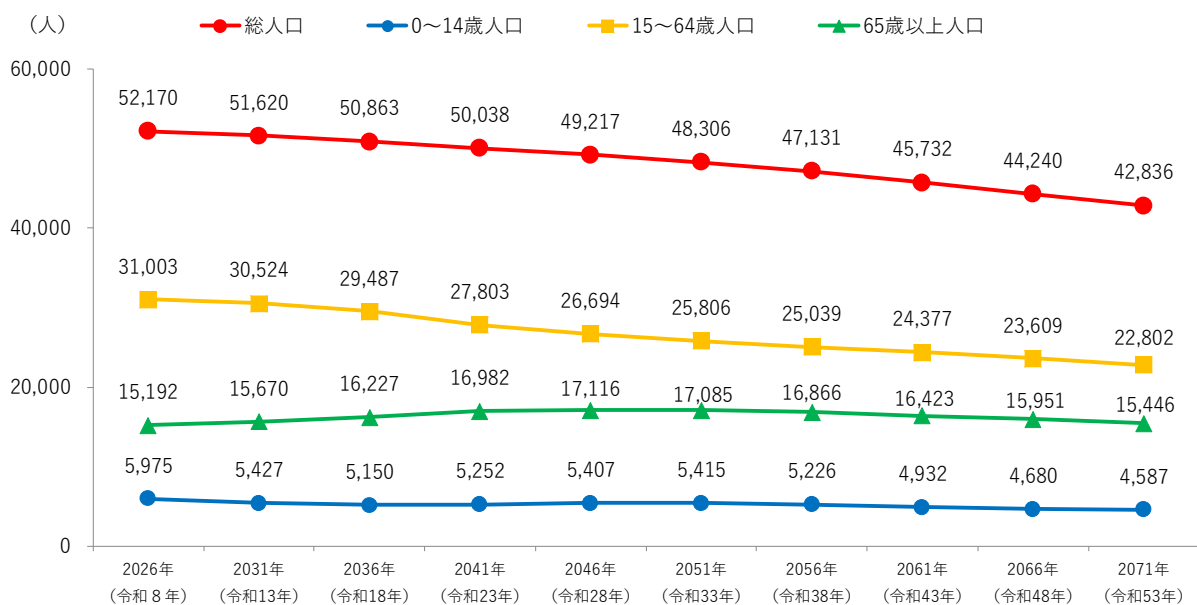


(3) ーB 出生高位×移動中位推計

- ◆ 基準人口：令和7年（2025年）住民基本台帳人口 52,271人（10月1日）
- ◆ 仮定値
 - ①生残率：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値
 - ②純移動率：住民基本台帳（2020-2025）から算出した値
 - ③合計特殊出生率：令和27年（2045年）には、1.60まで上昇し、以降継続
 - ④0～4歳性比：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値

【推計結果】※社人研準拠推計をやや下回って推移

- ◆ 白岡市の総人口は、後期基本計画の計画期間満了年の令和13年（2031年）には51,620人となります。その後、総人口は緩やかに減少し、令和38年（2056年）には47,131人、令和53年（2071年）には42,836人となります。

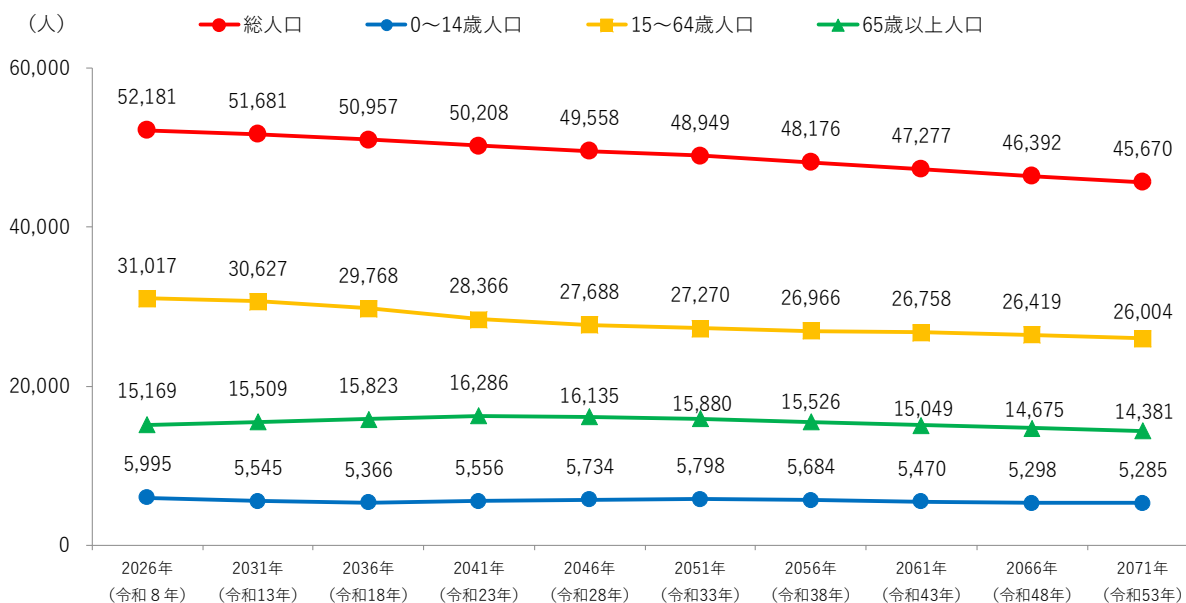


(3) ーC 出生高位×移動高位推計

- ◆ 基準人口：令和7年（2025年）住民基本台帳人口 52,271人（10月1日）
- ◆ 仮定値
 - ①生残率：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値
 - ②純移動率：転入超過の年齢層につき、令和27年（2045年）には純移動率+50%となる
 - ③合計特殊出生率：令和27年（2045年）には、1.60まで上昇し、以降継続
 - ④0～4歳性比：社人研が白岡市の実績（2015～2020）から算出した固有の値

【推計結果】※社人研準拠推計をやや上回って推移

- ◆ 白岡市の総人口は、後期基本計画の計画期間満了年の令和13年（2031年）には51,681人となります。その後、総人口は緩やかに減少し、令和38年（2056年）には48,176人、令和53年（2071年）には45,670人となります。



3. 独自推計によるシミュレーション結果

- ◆ シミュレーションの結果は下表のとおりである。B移動中位の場合、(1) 出生低位と(3) 出生高位の違いによる差は5,222人である。
- ◆ これに対し、(2) 出生中位の場合、A移動低位とC移動高位の違いによる差は9,672人であり、白岡市の場合、合計特殊出生率の上昇効果よりも、純移動率を維持・上昇させる(転入・定住を促進する)効果の方が高いことがわかる。

【括弧】内は 令和53年(2071年)の総人口	A移動低位	B移動中位	C移動高位
	最近5年間(2020 - 2025)は転入超過であった年齢層が、令和27年(2045年)には転出入均衡となる	最近5年間(2020 - 2025)の転入超過状況が今後も継続する	最近5年間(2020 - 2025)は転入超過であった年齢層が、令和27年(2045年)には純移動率+50%増となる
(1) 出生低位 合計特殊出生率が更に低下し、令和27年(2045年)には1.00となる	(1) - A 出生低位 × 移動低位 推計 【30,457人】	(1) - B 出生低位 × 移動中位 推計 【37,614人】	(1) - C 出生低位 × 移動高位 推計 【39,328人】
(2) 出生中位 合計特殊出生率が過去5年(2020-24)の平均値1.26から上昇しない	(2) - A 出生中位 × 移動低位 推計 【32,333人】	(2) - B 出生中位 × 移動中位 推計 【40,002人】	(2) - C 出生中位 × 移動高位 推計 【42,005人】
(3) 出生高位 合計特殊出生率が過去の最高値1.52を超え、令和27年(2045年)には社人研仮定値程度(1.60)まで上昇する	(3) - A 出生高位 × 移動低位 推計 【34,905人】	(3) - B 出生高位 × 移動中位 推計 【42,836人】	(3) - C 出生高位 × 移動高位 推計 【45,670人】

《参考：社人研準拠推計による令和53年(2071年)の総人口》44,191人

※社人研準拠推計を上回るのは、(3) - C 出生高位×移動高位推計のみ。

4. 本市の人口見通しと後期基本計画の目標人口

- ◆ 社人研準拠推計と独自推計によるシミュレーション結果を踏まえ、出生率や転入超過の状況が現状のまま推移すると、令和13年(2031年)の本市の人口は51,598人((2)B出生中位×移動中位)となることが見込まれる。
- ◆ 後期基本計画の目標人口については、まちの魅力の創出・発信、出産・子育て環境の整備、産業の育成・支援等の施策を展開していくことで、令和13年(2031年)の社人研準拠推計である52,285人に近づけることを目指し、前期基本計画と同様に52,000人とする。

